

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	アースウェル		
○保護者評価実施期間	R8年 5月 1日 ～ R8年 5月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	R8年 5月 1日 ～ R8年 5月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 8月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	国家資格を持つ専門職による多角的アプローチと支援が、子ども達の生活面に反映しやすい内容になっている。 また、環境への適応として、事業所内での支援に限らず、保育所や幼稚園での様子を気かけ、具体的なアドバイスや連携を行うことで、園生活での成功体験（友達が出来る、自分で出来るが増える）等に繋がる支援を行っている。	国家資格を持つ専門職が、それぞれが持つ強みを活かして、活動内容を組み立てている。 また、地域の在籍園との連携を強化し、在籍園の過ごしやすさに繋がるアプローチを在籍園の先生方と共有している。	言語面での支援を希望しているご家庭が増えているため、言語聴覚士の採用や、言葉の育みに対するアプローチの研修機会を増やし質の向上を目指していく。
2	子どもの発達の変化として、歩行能力の向上や身辺自立の確立といった身体面、生活面だけでなく、感情表出の豊かさやコミュニケーション能力の広がり等、社会性でも大きな変化が出るアプローチと支援を行っている。	障害の種別を問わずに、子ども達の表現や強みを理解し、アプローチ方法を柔軟に検討、実行している。	重度心身障害児や、重度知的障害児への理解と支援について専門家の研修を取り入れていくことを検討している。
3	集団療育、個別療育と利用方法を柔軟に設定し、こども一人一人の特性や課題を的確に保護者へ報告し、家庭内での対応改善に繋がり生活の豊かさに繋がっている。	子育てに関する相談だけでなく、きょうだい支援、生活基盤の整え方、進路選択等、幅広く相談できる雰囲気を作っている。	相談しやすい環境、豊富な知識と、人員の育成を継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間のコミュニティの形成	施設スペースの問題、また子育て中の職員が多く休日開催のイベントを実施する人員不足。	R8.8月に施設開放、無料相談会を実施予定。 療育参観の実施を今年度を実施予定。
2	意見表明、苦情解決システムの透明化	職員が多忙に見えるのご意見もあるため、声をかけやすい体制を整える必要がある。	意見箱の設置、HUGアプリの個別メッセージを活用し、気軽に言える環境づくりを行っていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

H2

事業所名	アースウェル	利用児童数	35	回収数	22	回収率 63%	公表日 R8年 8月 31日
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	0	2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	0	0	5	見たことがないからわからない。	基本人員は満たしております。顔がわかる関係づくりを心掛けていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1	0	2	車椅子でも入ることができ、助かります。	車椅子利用者にも対応できるよう、設備を整えてあります。衛生面に気をつけて施設運営を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	1	0	0		
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	0	0	1	専門的な視点を持ちながら、子どもに合った支援をしていただいています。特性に合わせ、小さなステップを少しずつ登らせてくれます。今後の成長を見越して活動を進めてくださり本人にあったステップが出来ている。	担当し指導員のみならず多職種連携を行いながら支援を組み立てています。今後も、各専門職の特色を活かし、活動を組み立てていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	1	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	0	0	1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	0	0	1	雑談などから汲んでください親身に寄り添ってもらっている。	ご本人の特性を理解し、保護者様の意向とを合わせて地域で過ごせるように支援を行っています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1	0	2	運動面や手先の発達なども考えながら、さまざまな活動を取り入れてくださっていると感じます。からだを使う時間、机上活動などバランスよく取り入れてくれている。	各専門職と連携を行いながら、様々なお子様の特性に合わせたプログラムを組み立てて支援を行っています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3	3	2	まだ通いだしたばかりでわからない	年に数回、近隣の保育園にご協力をいただきながら交流を行っています。今年度は、夏、冬に交流予定になっております。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	3	0	1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	0	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1	1	8	個別療育でアドバイスがもらえるので助かります。家族が参加出来る研修の機会や、外部の勉強会・講演会などの情報でもいただければありがたいです。	個別支援療育をご利用のご家庭には家族支援が充実しております。集団療育をご利用のご家族にも研修や情報共有の機会を検討しています。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1	0	1	連絡帳だけでなく、送迎時にもその日の様子を共有していただけるので、安心して利用出来ています。 物凄く細かくみてくれていて報告してくれます。 他児との関わりなどの成長面をその都度教えてもらい、親が気づかない部分を細かく見て指導してくれます。	顔の見える関係を目指して、各職員が情報を共有し、ご家庭へ伝達できるよう努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1	1	3	困った時にいつも助けてくれます。 困ったことやわからないことなど、何かあったらすぐに相談させてもらい、丁寧にアドバイスをくれます。	定期的な面談以外にもご相談頂けるよう、メール、電話でもお気軽にご相談頂ければと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	2	0	2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	5	2	8	児童発達支援では、交流の機会については分からないため「わからない」を選択しました。外部イベントの情報共有はしていただけており、現状では無理のない範囲で十分だと感じています。 ここで繋がったお友達やお母さんと交流でき、感謝しています。 昨日の演奏会はきょうだいの参加で大変楽しめました。保護者同士の交流の機会があればもっとありがたいです。 個人的な意見ではありますが、特性ひとりひとりが違うので、保護者同士の交流がなくとも、子ども同士が通所する中で育んでいけたら良いと思います。 イベントいつも楽しみにしています。	Wellzapイベント、スイッチの会など交流会を開催しております。 今後、ご希望の多かった年齢別やグループ別の療育参観を開催予定としております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2	0	3	相談などは直接はもちろん、電話、メールなど保護者から伝える手段が整えてあり、すぐに対応してもらって非常に助かっています。	相談のしやすい対応、環境、また迅速な対応が出来るよう心掛けてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	2	0	1	問19同様に直接はもちろん、電話、メールなど保護者から伝える手段が整えてあり、すぐに対応してもらって非常に助かっています。	相談のしやすい対応、環境、また迅速な対応が出来るよう心掛けてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	3	0	0	活動内容、本人の様子を毎回必ずフィードバックしてくれます。	毎月、アースウェル通信を送付しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2	0	7	利用開始したばかりなので、まだわからない。	各委員会、マニュアルを作成しております。月に1度、防災訓練も実施しておりますので、アースウェル通信にてご確認ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	1	12	集団療育の利用を始めてまだ1年経たないくらいのため訓練の実施状況についてはまだ分からない状態です。	月に1度、防災訓練を実施しております。また、職員研修として救命救急講習会の実施を行っております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	0	6		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	2	0	1	ニコニコです！	安心して子供達が通所出来るよう支援していきます。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	3	0	2	先生だけでなく友達に合うのを楽しみにしています。 とても楽しみにしてくれています。 まだ子どもとの意思疎通が出来ない。 いつもニコニコして帰って来るので、本人の充実感が伝わってきます。	楽しく通所してくれている子ども達が多くいて嬉しく思います。引き続き、様々な特性を持つ子ども達と活動できるよう指導員一同、知識、技術を身に付けていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1	0	2	大満足です！！ 今後に期待しています。 非常にありがたいと日々感謝です。成長段階に合わせたカリキュラムを組んでもらい、その過程を親も学ばせてもらっています。 きめ細やかな指導や説明のおかげで、療育施設以外の環境でどう過ごせば子どもにとっていいのかを考えながら、反復練習しています。	多くの方に支援内容に賛同いただきありがとうございます。様々な特性をもつ子ども達の成長の一助となるよう努めていきたいと思っています。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

S2

事業所名		アースウェル						公表日	R8年 8月 31日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	0	0	0	出来るだけ、子ども達が沢山活動できるように配置や人数を調整している。	支援器具の配置を見直し、活動スペースを確保するよう心掛けている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	1	0	0	支援内容や介助量に応じて職員配置を工夫している。	医療的ケア児さんにご利用できる曜日が限られているため、人員を増やしていきたいと考えている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	0	1	0	視覚刺激物の配慮を工夫中。	視覚情報の取り入れ方や、配慮を検討し導入予定としている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	0	0	0	環境整備として衛生委員会を設立し適宜、必要に応じて工夫している。	各支援用具の配置や保管について検討していく予定となっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	0	1	0	子ども達の状態に合わせて使用できるよう準備している。		
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3	1	0	0	常勤職員とは常に話し合いが出来る環境を作っていると思うが、非常勤職員との会議が少ないため時間を作って対応している。	非常勤、常勤問わず、参加出来る環境作りを検討している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	2	0	毎年アンケート調査を実施し、1つずつ改善につなげている。	第三者評価により頂いた内容として今年度も改善している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	2	0	0	各専門職や各担当部署からの意見を取り入れ改善できるところから進めている。	全体で会議を行う機会が少ないため、全職員が参加出来る機会を増やしていきたいと考えている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	1	2	0	第三者評価を今年度、実施し改善に向けて始動している。	内部環境、対外的な対応含めて1つずつ進めていきたいと考えている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	0	0	0	月に1度、法人内での勉強会を実施。また、年1回以上各職員が研修する機会を設けている。	非常勤職員の研修の機会を設けていく予定としている。	
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	0	2	0	利用時の連絡帳に活動内容を記載し、保護者様と共有している。また、保育所や幼稚園への連携も行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	0	1	0	各専門職からニーズや課題を把握し、計画書を作成している。	今後、言語聴覚士の採用を検討している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	0	1	0	子ども達の成長を一番に考え、保護者と密に話し合いをしながら計画書の立案を行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	1	0	0	月に1度、ケース会議を開催し計画書の検討と共有を行っている。	非常勤職員への周知が滞ることがあるため、伝達方法について模索している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3	1	1	0	医療機関、子ども発達相談室での評価を基に実施している。行動観察には各専門職が関わって評価を行っている。	今後、フォーマルアセスメントの導入予定としている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	0	1	0	各領域内容を踏まえた計画を行っている。子どもの成長に合わせて適宜変更を行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	0	1	0	各専門職が多角的な評価を行い、プログラム立案を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	0	1	0	年間計画、月計画等を作成し、プログラムを変更している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	0	1	0	子どもの成長に合わせて、ご提案している。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	1	0	0	朝礼、終礼を実施しチーム連携を行っている。	非常勤職員への伝達に滞りがないよう伝達方法を模索している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	1	0	0	朝礼、終礼を実施しチーム連携を行っている。	非常勤職員への伝達に滞りがないよう伝達方法を模索している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	0	0	0	各活動毎に整備している。		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	0	1	0	各専門職でモニタリングを実施している。		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	0	1	0	児童発達支援管理者のみならず、担当職員が出席できる場合は参加するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	0	1	0	各所属先との連携は積極的に行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	0	1	0	利用開始時に連携を行い、適宜子どもの成長に合わせて情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	0	1	0	就学に向けて、各進路先や養護教育センターとの情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)						近隣の事業所と支援内容など強みを理解し、情報共有を行っている。	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	5	0	0	2	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	3	0	1	0	外部研修の機会を増やしている。	非常勤職員の研修の機会を増やせるよう運営していきたいと考えている。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	1	0	3	0	代表、管理者が参加している。	
	31	(31は、事業所のみ回答)						センター会議に参加し、助言を得ている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けているか。	4	0	0	1	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	0	1	0	地域の保育園との交流を実施している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	0	1	0	引き渡し時、個別療育時に話し合い、共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	0	2	0	個別支援（親子通所）にて重点的に実施している。	集団療育のみの利用者にも機会を設けていきたいと考えている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	0	1	0	ご契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	0	2	0	子どもの発達段階や家庭方針、家庭環境を踏まえて話し合いを行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	0	2	0	面談を実施し、説明をしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	0	1	0	家庭や所属先での様子を共有しながら助言と支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	1	1	0	Wellzapイベント、スイッチの会等を設け、交流する機会の提供を行っている。	療育参観を実施予定としている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	0	1	0	迅速な対応を心がけている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	0	1	0	毎月アースウェル通信を作成し送付している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	0	0	0	年2回、研修を実施して取扱いに留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	0	2	0	電話、メール、面談と相談しやすい環境を整えている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1	3	1	0	今年度、実施している。	年に数回、実施できるよう検討している。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	1	1	0	各委員会を設立し取り組みを子なっている。毎月アースウェル通信にて周知している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	0	1	0	BCP作成、避難訓練を毎月実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	0	1	0	新規利用時に確認し、毎年見直しを行っている。	

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	0	1	0	保護者と情報を共有し対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	2	0	1	0	安全計画を作成している。	研修や訓練に参加できる職員が限られているため、全体周知を行っていく予定としている。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	0	2	0	非常時の対応について、新規契約時に説明を行っている。	利用期間が長くなると忘れてしまう利用者もいるため、年度毎に周知するよう切り替え中。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	0	1	0	報告書を作成し、対策を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	0	1	0	虐待防止委員会を設立し、研修をこなっている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	0	1	0	新規契約時に説明と了承をいただき、個別支援計画書に記載している。	